Special concrete

座長:齋藤尚(土木),山﨑順二(建築)

Wed. Jun 26, 2024 1:00 PM - 3:00 PM Room 2 (小展示室B)

[1189]Evaluation of Tensile Performance of Polymer Modified Cement Waterproofing Membranes in a Repeatedly Elongated Fatigue Process

Masayuki TSUKAGOSHI[1], daichi Yoshinaga[1], satoru honda[1], yosuke furusawa[2] (1.福岡大学 2.AGC ポリマー建材)

Keywords: 伸長疲労、ポリマーセメント、塗膜防水層、材料分離、ひび割れ

ポリマーセメント比が100%100%～200% で厚さが2.0mm のポリマーセメント系の塗膜材料の，伸び性能と耐伸長疲労性について実験的検討を行った。最大伸び率については，材料分離の生じにくい高 P/C また低 W/B ほど大きくなる傾向にあったが，最大引張応力については不規則な傾向を示た。ここで，引張荷重と伸び変形量からひずみエネルギーを求めた結果， P/C=150% ・ W/B=60% の供試体が最も大きくなった。ただし，繰返し引張を与えた場合， W/B によらず高 P/C ほど1 回目の伸長時のひずみエネルギーの値を，繰り返し伸長後も保持しており，高 P/C の調合は耐引張疲労性確保のためには有効であると考えられる。

©Japan Concrete Institute